



Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

つばさ

私たちは安全で温もりのある
医療と保健サービスの提供をめざします。

2006年4月発行

第7号

社会保険神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町2丁目1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://www.zensharen.or.jp/khbb/>



呼吸器科からのお知らせ

呼吸器疾患は肺炎などの感染症、喘息に代表されるアレルギー疾患、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、腫瘍（肺癌など）に至るまで極めて広範な分野にわたります。また、人口の高齢化や環境の悪化に伴い、受診・入院される方も増加の一途をたどっています。咳・痰・呼吸困難などの症状が長く続く場合は受診をお勧めします。

親切・丁寧かつ最新の知見に基づいた診療を心がけています。

(日本呼吸器学会・日本呼吸器内視鏡学会認定施設)



内科（血液）からのお知らせ

北区は血液専門医がないため（というか六甲山を越えると日本海まで全くない！）東は宝塚・西宮の患者様から西は佐用まで、北は八鹿・宍粟、南はなぜか大学病院からのたくさんの患者様のご紹介に、実質2名の医師で頑張ってきました。この4月から当院にもう1名血液専門医が赴任してきました。月曜日から金曜日まで血液疾患を診療できる医師を外来に揃えました。

より一層対応をスムーズにしたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(日本血液学会・血液研修施設)



神経内科からのお知らせ

当院では、このたび「神経内科」を新しく標榜（ひょうぼう）することになりました。同時にいままでは神経疾患の患者様を内科専門外来で診療させていただいておりましたが、4月から脳神経外科の隣に新しく神経内科の診察室ができました。

「神経内科」や「脳神経内科」はどんな病気を扱う診療科かわからない、とよくいわれます。当科は脳や脊髄といった神経系の病気を内科的にみる診療科です。代表的な疾患は脳梗塞、パーキンソン病、てんかん、頭痛、神経変性疾患、末梢神経疾患、筋疾患などです。症状としては手足に力が入らなくなった、手足のしびれが出現した、しゃべりにくい、飲み込みにくい、ふらふらとして歩きにくい、動作が徐々に鈍くなったり、手が震える、頭が痛い、目が回る、物が二重に見える、歩きにくいなどです。ご心配の方は一度当科にご相談ください。不眠やうつやパニックなどが疑われる方は一度、神経科にお問い合わせください。

(日本神経学会・教育関連施設)



近隣医療機関のご紹介

内田クリニック

〒651-1233

神戸市北区日の峰2丁目3-1

神戸北町センタービル4F

電話 078-582-0562

診療科目：外科・整形外科・
リハビリテーション

診療時間：午前9時～午後12時
午後4時30分～午後7時
休診日：木曜日・土曜日・祝祭日



平成3年2月に神戸北町センタービル4階に、
外科・整形外科・リハビリテーション科を開業し、
16年目を迎えることができました。

内田吉則先生

当クリニックは、松が枝町、緑町、神戸北町と
いった新興住宅地、山田町という古くからの町に囲まれた地にあります。

日常の診療においては、腰痛、膝関節等の訴えが多く、スタッフと共にA.D.L(動作の状況)の早期改善を図っております。また、最善の医療とは何か、どのようにすれば理解、納得を得られるのかを考え、懇切丁寧な説明、即ち『インフォームドコンセント』を誠実に実行するよう努力し、住民の方々が、安心して暮らせるよう、地域に根ざした医療を目指し頑張っております。

第18回 公開医学講座 (平成18年2月4日(土)開催) 麻酔科 青木 裕司 部長



全身麻酔ってどんなもの？

— 麻酔医が語る麻酔のあれこれ —

麻酔という言葉は、「麻痺」させて「酔わせる」という字を書きます。1804年、華岡青洲は2種類の毒草を煎じて飲ませ乳癌の手術に成功しました。このような、感覚を「麻痺」させ、「酔わせて」意識をもうろうとさせるだけの「麻酔」は、今日の常識から考えると危険極まりないものと言わざるを得ません。全身麻酔は、単に意識を失わせるだけでなく、呼吸も止まり、血圧や脈も大きく変動します。これらを管理するのが麻酔科医の仕事です。単に麻酔薬を打って眠らせるだけではないのです。麻酔と、手術中の全身状態を管理する麻酔科専門医がいることにより、昔に比べて全身麻酔は各段に安全なものとなりました。さらに、麻酔に使用する医療機器類が整備され、その性能が向上したことも麻酔の安全確保に貢献しています。おかげで今では、安全性の追求のみならず、術後の鎮痛など「麻酔の質の向上」にまで目を向けることができるようになっています。全身麻酔の安全性と手術後の快適さを確保するためには是非、麻酔科専門医が常勤する医療機関で手術を受けられることをお勧めします。

今後の予定

次回の予定は、決定次第
院内掲示板にてご報告させて
いただきます。
ご迷惑をおかけいたしますが
ご了承ください。





新任医師紹介

	内科 内田 亮 出来的限り、わかりやすい説明と、病状に合わせた治療を心掛けたいと思います。		内科 中島 寿樹 糖尿病患者さんの合併症の発症進展を予防することができるよう、患者さんと、2人3脚で取り組んで行きたいと考えています		内科 阪本 健三 主に、心臓に負担の少ないR.I検査を中心に現在まで診療をしてきました。がんばりますので宜しくお願いします。
	内科 千丸 貴文 北区という素晴らしい地域で少しでも皆様のお役に立てるよう微力を尽くしていきたいと思います。		内科 大川 善文 神戸市北区の皆様の健康管理を担っていきます。よろしくお願いします。		外科 氏家 和人 この4月から外科として本格的にがんばっていきますので何卒よろしくお願い致します。
	外科 飯高 大介 引き続きお世話になります。今後ともよろしくお願い致します。		整形外科 杉田 誠 脊椎と骨粗鬆症が専門です。おはしが使いにくい方や、歩行が困難な方は相談してください。		整形外科 後藤 裕 はじめまして。専門分野はまだ決めておりませんが、患者様の力になれるように頑張ります。よろしくお願いします。
	整形外科 竹中 孝 早いもので、当院に就任して、あっという間に3ヶ月が経過しました。現在は救急疾患を中心とした整形外来と救急外来を往復する毎日です。よろしくお願いします。		整形外科 毛利 尚史 4月より着任しました。外傷はもちろんですが、肩・膝痛など慢性的な病気に対しても要望や活動性に応じて、できる限り治療にあたりたいと思います。よろしくお願いします。		耳鼻咽喉科 四ノ宮 隆 前任地の京都府立医大では腫瘍、いびきなどの外来を担当しておりました。よろしくお願い致します。専門は耳鼻咽喉科、頭頸部外科です。
	耳鼻咽喉科 柴田 敏章 専門は耳ですが、副鼻腔や頭頸部の手術も多数経験があります。親しみやすく、話やすい医療ができるよう努力します。		麻酔科 平田 誉 二度目の勤務です。前回は当院が懸山へ移転してきた時です。この時から麻酔科が始まりました。		歯科口腔外科 小松原秀紀 わかりやすい説明や、困った時に相談しやすい診察を心掛けていますので、何でも相談してください。



退任Dr.のお知らせ

消化器科：米田 充
(2月末付)
外科：山根 越夫（副院長）
内科：森 裕
中川 裕介
白石 恵美
外科：小見山聰介

整形外科：長岡 孝則
皮膚科：芝崎 加奈
産婦人科：渡辺 喜信
耳鼻咽喉科：和田 義正
杉山庸一郎
脳神経外科：石野 真輔
麻酔科：深澤まどか

歯科口腔外科：石井準之助
研修医：土田 真嗣
大塚 斎史
長谷川弥生
渡部 徹志
(以上3月末付)





4月から障害に係る公費負担医療は 『自立支援医療』に変わります



更正医療（人工透析医療・人工骨頭置換術など）、育成医療、精神障害者通院公費負担医療についての医療費が、定率1割負担に変わります。入院した場合の食費（標準負担額）は自己負担になります。但し、役所にて手続きをすることにより、所得に応じ医療機関での窓口負担が軽減される場合があります。詳しくは、お住まいの区役所または市町村役場の障害福祉担当窓口にお問い合わせください。

また、初めて利用される方や、更新される方は、今後、役所にて手続きが必要になりますのでご注意ください。

産婦人科外来 からのお知らせ

新緑のまぶしい爽やかな季節になりました。

誠に、残念なお知らせですが、昨年より産科取り扱い存続に向け、いろいろな方面から努力して参りましたが、当院でも産婦人科医の確保が困難となり、平成18年4月より分娩を取り扱うことが、できなくなりました。

地域の皆さんには大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解、ご協力の程、よろしくおねがいいたします。



医学常識の

うそ？ ほんと！

あなたのいびき、
大丈夫？

睡眠時無呼吸症候群
の患者に交通事故
が多い？

1 睡眠時無呼吸症候群とは？

- ・睡眠中、気道の閉塞による10秒以上の無呼吸が1時間に5回以上ある。
- ・7時間の睡眠中に30回以上の無呼吸が起こる。

2 なりやすい人の特徴

- ・太っている
- ・首が短く太い
- ・あごが小さい
- ・舌が肥大している
- ・のどの奥がせまい
- ・高血圧 糖尿病

3 自覚症状

- ・日中傾眠（日中の過度の眠気）より注意力が散漫
- ・夜尿症
- ・早朝の頭痛
- ・睡眠時の窒息感

ひょっとして？と思われた時は、かかりつけ医にご相談の上、呼吸器科または耳鼻科受診をお薦めします。
終夜睡眠ポリグラフ検査に基づき、あなたに最も適した治療方針が決定されます。

おいしい栄養学

フレッシュサラダ・豆腐、長芋ドレッシング

栄養課 岸野三枝子

豆腐には、主要な成分として、たんぱく質、炭水化物、脂質のほか、ミネラル、ビタミン、カルシウム、サボニン、レシチン、大豆イソフラボンなどが含まれています。豆腐は、良質のたんぱく質源ですので、食生活の中で他の食品と組み合わせてバランスよく食べることをお勧めします。

材料 4人分

1人分 63kcal

絹こし豆腐…200g 長芋…200g レタス…80g

胡瓜…40g 人参…40g 玉葱…40g

パプリカ…20g プチトマト…80g

ドレッシング（酢…40cc 砂糖…16g 淡口醤油…8cc

塩・こしょう・レモン汁・白ごま…各少々）

作り方

- ① レタスは適当な大きさにちぎる。
- ② 胡瓜、人参、玉葱、パプリカは、千切りにする。
- ③ プチトマトは、輪切りにする。
- ④ ドレッシングを合わせる。
- ⑤ 豆腐は手で粗めにつぶす。
- ⑥ 長芋はおろす。
- ⑦ ドレッシングを合わせ、⑤⑥と混ぜる。
- ⑧ 野菜を盛り、上から⑦をかけ、白ごまをふる。

